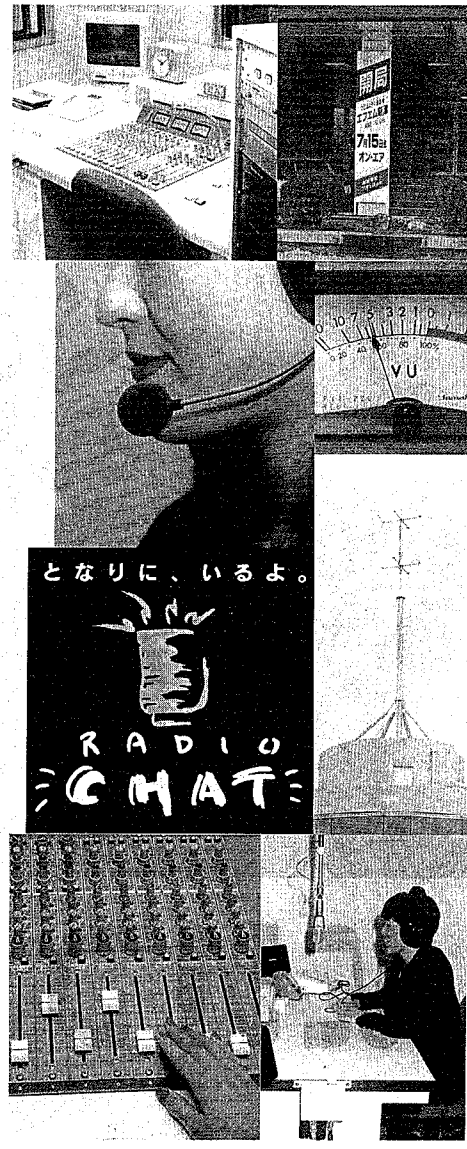
地域密着の情報玉手箱「エフエムにいつ」

RADIO CHAT（ラジオ チャット）開局



市民の皆さん待望のエフエムにいつ「RADIO CHAT（ラジオ・チャット）」が、7月15日（金）に開局し、同日の正午から放送が開始されます。送信周波数は76.1メガヘルツで、市内のほぼ全域で受信することができます。

同放送局は、地域密着のラジオ局として、新しい新津の魅力になりそうです。

エフエムにいつ

「RADIO CHAT（ラジオ・チャット）」が、いよいよ開局します。

放送開始は、七月十五日（金）の正午からで、七六・一メガヘルツ、出力一キロで送信します。一般に市販されているFMラジオであれば、市内のほぼ全域で受信することができます。

放送時間は、開局の翌日の十六日からは毎日、朝六時から深夜十二時までの予定です。

同放送局は、県内はもちろん、東北、北陸でも初のコミュニティー放送局として、平成四年四月から開局準備が進められてきたもので、今年三月に予備免許の交付を受け、四月に「株式会社エフエム新津」として正式に設立されました。

情報過多の時代と言われ、そのほとんどが中央発の情報文化で占められている今日、「RADIO CHAT」は、より地域に密着した親しみやすいラジオ局を目指します。

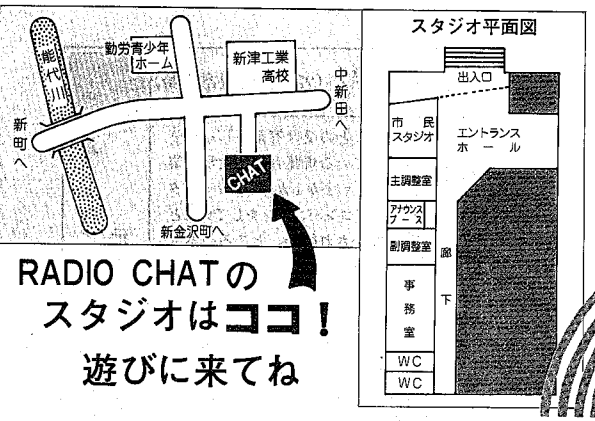
放送

される番組は、タウン・ショッピング情報や花情報、観光・イベント情報、市役所からのお知らせをはじめ、おめでとうメッセージやコミュニティ伝言板、生涯学習講座など、親しみやすい内容が予定されています。そのほか、市民スタッフや地元高校生の制作番組、市民参加のトーク番組なども計画されています。

また、夜の時間帯などに、ミュージック・バードやサテライト・ミュージックなどのCS放送（衛星放送）の音楽番組をお届けする予定です。音楽ファンにはたまらないメニューになりそうです。

愛称

の「RADIO CHAT（ラジオチャット）」は、一般公募の結果、約三百通もの応募の中から選ばれたもので、新津高校三年の小柳博一さんの作品をもとに決定されました。「CHAT」とは、英語で「くつろいだおしゃべり」の意味で、同放送局が情報発信に設立されました。



RADIO CHATのスタジオはココ！
遊びに来てね

新潟地震から三十年が経ち、また、能代川分流の完成により水害の恐怖から解放された新津市ですが、もう一度災害に対する心構えを再確認しましょう。

北海道南西沖地震による奥尻島津波災害や鹿児島の集中豪雨など、遠いところの出来事として片付けるわけにはいきません。いつ、どのような規模で発生するか分からないのが災害です。

新津市では、万一災害が発生した場合には、直ちに災害対策本部を設け、市民の皆さんの安全を守る体制をとっています。エフエムにいつでは、こうした「万一」の場合に、災害対策本部と連携し、二十四時間体制で災害対策本部に集められた正確な地域情報を市民の皆さんにお伝えします。

エフエムにいつのもう一つの役割

とかく災害は局地的に発生するため、個別・具体的な情報の提供が重要になります。エフエムにいつでは、「市道▽▽線は、□□商店街付近で冠水のため通行できません」、「△△地内では、崖崩れの危険があるため、付近の方は〇〇センターへ避難してください」など、エリアの小さい放送局だからこそ対応できるきめ細かな情報の提供が可能です。

また、災害対策本部からの情報だけでなく、例えば「〇×町の△□さんは、△△に避難して無事でいます」とか、「△△さんの安否を知っている方がいたら教えてください」といった市民の方からの安否情報などの放送も考えられます。

特にラジオの場合、災害によって停電したり、避難を要したりする場合でも、携帯用のラジオがあれば情報を入手できることから、こうした災害時において「エフエムにいつ」による即時性のある地域情報の正確で迅速な提供が、大いに効果を発揮するものと考えられます。

だけでなく、リスナーの皆さんとの会話を楽しみ、音楽を楽しみ、そして皆さんから楽しみながら番組に参加してもらいたいという願いが込められています。

また、ステーション・マークの湯呑み茶わんは、「お茶飲み話のような身近な内容」、「お茶を飲みながら気楽に聞ける」といった意味を表しています。

スタッフ一同、皆さんに愛され、ちょっと便利でためになる、そんなラジオ局にしたいと考えています。

お買物、ご用命は市内で

内科・小児科・レントゲン科
大坂医院
新町1丁目6―12　TEL(24)5122

点でささえる西川のムアツふとん
キャンペーン実施中!!
TOKYO 西川チェーン
ふとんの新保
新津市本町2丁目10-27 ☎22-0808

94 ろうきん夏季キャンペーン
ひかりの選択、ろうきん。
ローンも、預金も、ろうきんで。
新津市本町2丁目　ろうきん新津支店
☎23-0115